

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ソキウスコンサルティング(株)

② 施設・事業所情報

名称：キンダーガーデンこぼと	種別：保育所
代表者氏名：湯浅 房子	定員（利用人数）： 70（62）名
所在地：神奈川県厚木市旭町3-7-3	
TEL：046-220-6333	ホームページ： https://kobato.shinkou-kai.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 17年 8月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 新考会	
職員数	常勤職員： 16 名 非常勤職員 4 名
専門職員	（専門職の名称）
	園長 1名 嘱託医 内科医 1名
	主任保育士 1名 歯科医 1名
	副主任保育士 1名 事務 1名
	保育士 13名 保育士 1名
	調理員（外部委託） 3名
	栄養士（外部委託） 1名
施設・設備の概要	（居室数） 6（一時利用室含）
	（設備等） 職員室、更衣室、調理室、エレベーター、トイレ、車いす用トイレ

③ 理念・基本方針

〔理念〕：子どもたちの成長を見守り、足跡を未来につなげる。

～君たちの足跡を残したい～

〔基本方針〕：社会の変化と子ども達の育っていく環境は目まぐるしい程の変化をしています。日本の国内にとどまらず、世界に広がっていく社会環境の中で、適応できる子どもとして育っていけるよう、子ども達の育っていく道筋をしっかりと見つめながら、「環・食・知」をバランスよく育てていきたいと思えます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・保育目標に「人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意志、創造性豊かな心情を育てる」ことを掲げています。

外国籍の子どもには特別扱いすることなく子ども同士のかかわりを大切にしています。障害のある子どもには視覚的な教材を使用したりすることで安心して過ごせるようにしています。

・はだし保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や足の裏の刺激による体全体の成長を促しています。

・子ども達の意見や会話を大切に、行事内容を子ども達と一緒に作り上げています。

- ・園外散歩を通して、地域の人との交流や体力の向上を進めています。
- ・個人で絵本を購入して頂き、保育の中に取り組み、絵本に親しむこと・自分の物を大事にすることを育てています。
- ・連絡アプリを導入し、家庭との連絡や身体測定結果等を配信しています。毎日の保育活動を写真付きで掲示（保育ダイアリー）し、保護者の方へ保育の見える化として提供しています。月末には、1か月間の子どもの成長記録（ポートフォリオ）を渡し、保護者からもコメントを頂き、成長を共に喜び合うことができます。年度末に1年分を保護者に渡しています。
- ・親子陶芸、LaQ講座等の地域子育て支援に関する取り組みを行っています。
- ・栄養士による月1回の食育講座や看護師による健康教育を行っています。
- ・外部講師による英語教室（5歳児）を取り入れています。
- ・厚木市内にある短大の保育科の学生さんたちと5年以上交流が継続し定期的に劇を披露してくれています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4年 8月 1日（契約日） ～ 令和 5年 3月 9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（平成28年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

[特長]

- (1) 職員はチームワークを発揮し、お互いに連携して日々の保育にあたっています。

職員は互いに助け合い密接な連携のもと保育の質の向上に努力しています。特に、園長、主任保育士はじめ園の業務の企画運営に携わる職員の強固な連携・チームワークのもとに諸計画の作成、保護者対応、日々の保育の指導・確認など広範多岐にわたる業務を円滑に遂行しています。事業計画などの作成にあたっては、法人本部から示される指針や重視事項を踏まえ、園を取り巻く環境を的確に分析・評価し、それを計画に反映し、協力し着実に保育に反映されています。この姿勢が職員全員に浸透し組織全体としてしっかりした連携・協力体制が構築され、実行、評価、改善の段階においても着実・円滑に進められています。

- (2) 地域の方々、関係機関と良好な関係が築かれ保育の質の向上に寄与・貢献しています。

地域との繋がりを大切にし、子育て相談など保育園が持つ幅広い機能を提供及び支援をし、地域の子育て支援ニーズにしっかり応え、福祉施設などへ園児が訪問し、交流の輪ができています。災害対応についての町内会や関係機関との連携や、有事の際に地域の子どもたちも一時預かりの対象とするなど種々の貢献をしています。また、近隣の農家から収穫した作物を頂いています。農業大学では10年前から学生と一緒に芋ほりや雨天の場合は室内で落ち葉などを材料とした製作物をつくる活動をしています。芋ほりで収穫した芋は給食やおやつのおやつとして使っています。参加した子どもたちにとって興味深く印象的な体験をすることができ、保育に対する貴重な支援を頂いています。このように地域の方々や関係機関との密接な連携・協力により、保育の質の向上に大

きな後押しとなっています。

(3) 恵まれた自然環境は子どもの心身の発達と保育に活かしています。

当園は県内主要都市の1つである厚木市の中心近くに位置しています。

相模川の河川敷をはじめ散策路や多くの公園があり、自然にも恵まれています。

この立地環境を活かし、保育の中に戸外遊びをしっかりと取り入れています。

周辺地域にはそれぞれ特色・特徴のある多くの公園があり、季節や年齢に応じてこれらを組み合わせ多種多様な散歩コースが設定されています。子どもたちは自然の中で生き物や植物に触れ、思う存分に体を動かし、豊かな心と健康な身体を育てています。生涯にわたる人間形成にとって極めて重要なこの時期に心身のバランスの取れた保育にしっかりと繋げています。

[今後期待される点]

(1) 保育の標準的実施方法についての継続的な見直しが求められます。

保育について標準的な実施方法を文書化した諸マニュアルにもとづき実施されています。

0歳から2歳までは半年に一度のモニタリングを実施し、計画の見直しをしています。標準的な実施方法にもとづきながらも、子ども一人ひとりの発達や状況等に応じて柔軟に行われるなど常に確認し、必要に応じて適宜実施方法を見直す姿勢をしっかりと保持することを期待します。

(2) 人材不足の中、人材確保ができ育成の推進について更なる改善努力の継続をされることが期待されます。

必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や福祉人材の確保と育成に関する方針が確立しているものの、現在は、時代的に人集めも難しく人材確保に悩んでいる点もあるとのことですが、どの園も同様の状況にあります。

今後とも必要な福祉人材の確保・定着に向けて更なる努力をされるよう期待します。また、福祉人材の確保・定着の観点から、園の魅力を高める取り組みや働きやすい職場づくりが期待されます。

(3) 前回受審時に改善すべき事項の災害時のマニュアル整備については、緊急時対応マニュアルとして整備され、現在は事業継続計画（BCP）に向けさらなる改善に取り組んでいます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を改めて受審させて頂きました。前回は改善すべき項目とされていた部分にも職員と共に取り組むことで新たな気づきや成果も出すことができたと感じています。そして職員一同が今回の結果をみて自分たちの取り組みを認められたことで背中を押してもらえたように感じていました。今後も今回の結果をもとに職員一同で話し合いをしてより良い園を作って行けるようにしたいと思います。また、保護者からの観点、職員確保・定着の観点からも園の魅力を高める組みや働きやすい職場づくりを行っていくことで地域に必要とされ続ける保育園になれるように努めてまいりたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり